



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
The Y's Men's Club of Nagoya
CHARTERED AUGUST 27, 1947
C/O NAGOYA YMCA 35-16, DAIKAN-CHO, HIGASHI-KU, NAGOYA, 461-0002 JAPAN

名古屋ワイズメンズクラブ 10月第一例会へのお誘い

この度私たち名古屋ワイズメンズクラブでは 広く私たちのクラブと活動を知っていただくこと 特にワイズメンズクラブでも国際関係で要職を歴任された方をゲストスピーカーをお招きして ワイズメンズクラブの国際活動について知る会を企画しました。これはクラブメンバー各人がもう一人のゲストをお連れしよう という意味でプラスワン例会とも呼んでいます。どうかお気軽に私たちのプラスワン例会においでください。

とき 2010年10月12日(火) 18:30~20:30
ところ 名古屋YMCA: 名古屋市東区代官町35-16 第一富士ビル3階会議室
TEL 052-932-3366 (地下鉄 新栄町または高岳から徒歩5分)
登録費 ¥1,000 (軽いお食事を用意いたしますので 必ず事前に登録下さい)
申し込み先 名古屋ワイズメンズクラブのメンバー、または名古屋YMCA(TEL:052-932-3366)
の名古屋ワイズメンズクラブ担当者に申し込みください。

スピーチテーマ:「ワイズ・国連・MDGs」

ワイズメンズクラブ国際協会では、永年、TOF(Time of Fast)というプログラムを推進して来ましたが、世界には飢えに苦しんでいる人々が大勢いることを覚えて、食事を抜き、その食費に相当する金額の献金を行おうというものです。集められた献金は、国際本部に集められ、主として、発展途上国のYMCAが展開しているプログラムの援助に用いられて来ましたが、このプログラムは、ワイズ独特のプログラムで、他の国際奉仕団体(ロータリー、ライオンズ、キワニスなど)からも高く評価されてきました。ただTOFという用語が、ワイズの世界以外ではまったく通用しないという問題点が以前から指摘されてきました。

近年、国際協会では、TOFよりもUGP(Unified Global Project)という事が声高に言われるようになり、昨年度まではHIV/AIDS、そして今後5年間はマラリア撲滅(RBM - Roll back Maralia)がテーマに掲げられています。国際協会のこの変化?には、どのような背景があるのか、ワイズメンは、今後、グローバルな課題にどのように向き合っていけば良いのかを、ともに考えたいと思います。

ゲストスピーカー紹介:奈良昭彦氏

1944年 東京生まれ。大学で金属加工、大学院で建築を学び、建築設計事務所を自営。住宅、教会建築、YMCA施設などを手がける。

1980年 東京YMCA維持会員となり、東京山手ワイズメンズクラブ入会

YMCAでは山手センター運営委員長、東京YMCA国際奉仕センター運営委員長など、ワイズメンズクラブでは、クラブ会長、(旧)南東部長、(旧)日本区Yサ・ASF事業主任、東副区理事、東日本区準備委員長などを務める

1997-2000年 国際議員、1999-2000年 アジアエリア会長

2001-2003年にヒマラヤのブータン国、2005-2007年に中米のセントルシア国にJICAシニアボランティアとして赴任。現在は大阪女学院非常勤講師、淀川キリスト教病院評議員など

名古屋ワイズメンズクラブとは

私たち名古屋ワイズメンズクラブは 1947年に設立された日本でも有数の歴史と伝統を持つワイズメンズクラブのひとつです。ワイズメンズクラブとは「賢人のクラブ」ではなく YMCAの支援を目的として1922年に米国オハイオ州で初めて設立され 現在では世界68ヶ国 3万人の会員を擁す国際的な社会奉仕団体です。主な活動としては 毎月の例会で食事を共にしてゲストの有益な卓話を聞いたり、会員相互の交流をします。またYMCAや地域社会への奉仕活動をしたり 他の国内・国際ワイズメンズクラブとの交流を通して見聞を深めます。